

13. 活動成果の実用化に関する取り組み

13. 1 概要

道路管理技術委員会は、設置要領第1条（設置）で、「道路を常時良好な状態に保全し、適切に活用するために調査及び研究するほか、道路災害等が発生し、又は発生するおそれがあるときに、これを迅速かつ的確に対応することを目的として、道路管理技術委員会を設置する」とされ、第2条（業務）で委員会で扱う業務として、4つの業務を挙げている（1. 2 委員会設置要領参照）。

これを踏まえて委員会で扱う活動テーマを選定し、各部会を設けて検討を行ってきたところであり、この経緯は、表2-1「道路管理技術委員会の活動部会とテーマの履歴」に記載しているとおりである。そして活動成果については、平成10年から3年毎に取りまとめ、これまで2巻の報告書として作成、配布してきたところであり、本報告書は、それに続く平成16年度～18年度までの「報告書（その3）」である。

当報文は、道路管理技術委員会のこれら活動成果について、道路管理技術委員会のみならず道路管理者等に対してインターネット上で公開するための手順とその方法及び公開の試行などの取り組みについて取りまとめたものである。

13.2 活動成果の実用化全体構成

道路管理技術委員会の活動成果を道路管理者等に公開する方法としては、それらの成果が纏まった段階で冊子として取りまとめて配布するほかに、道路管理技術委員会の専用ホームページに掲載してインターネット上にてこれを公開する方法があるが、ここでは後者の全体構成とその掲載内容について検討する。

当該ホームページは、道路管理技術委員会の活動成果の閲覧のみならず、道路管理技術委員会に関する諸情報、活動成果の概要、委員会での検討資料及び適時ニュース等を掲載して、道路管理技術委員会活動の全体を把握できるように、その掲載内容を次のとおりとした。

- ① 道路管理技術委員会の事項【委員会の目的と設置経緯・同設置要領・関連名簿】
- ② 活動成果概要【活動成果の概略記述】
- ③ 活動成果【活動成果：前出冊子と同一内容】
- ④ 委員会ニュース【委員会活動による適時資料】
- ⑤ 委員会資料【道路管理技術委員会において使用した資料】

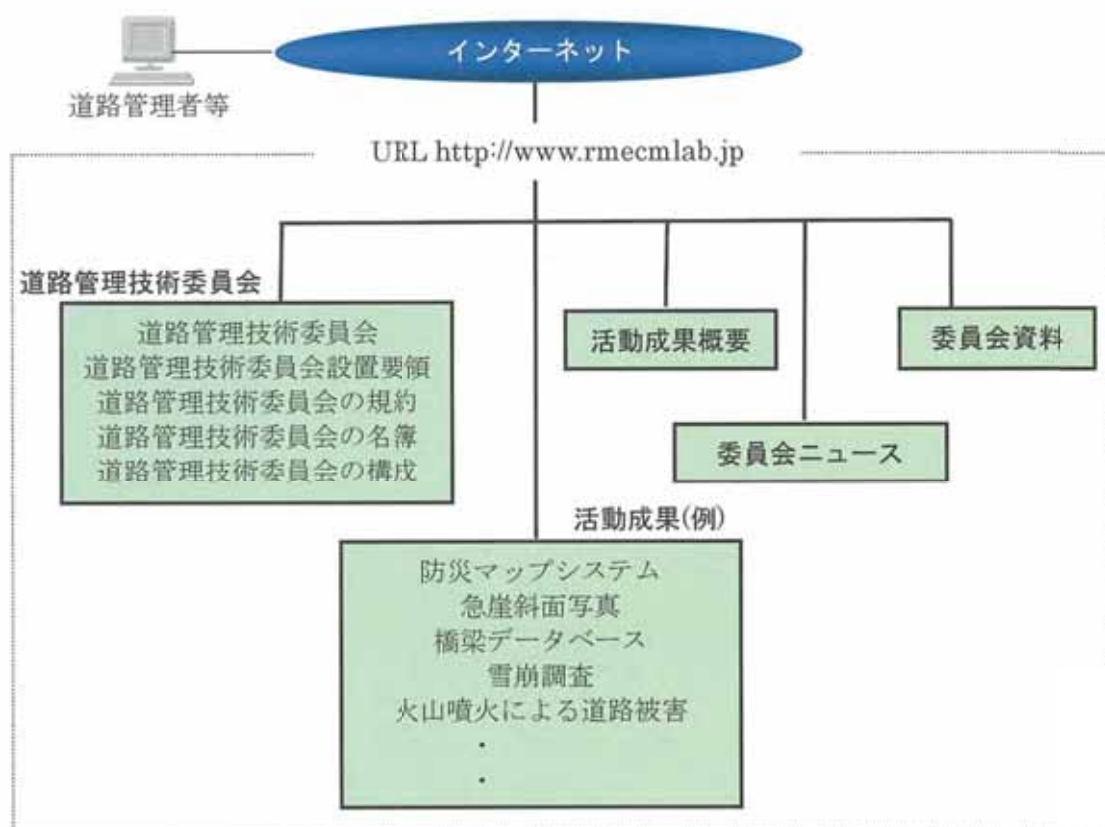


図13-1 活動成果実用化の全体構成

13.3 活動成果の公開・実用化手順

道路管理技術委員会の活動成果は、それらがまとまった段階において、それを保存し、かつ、公開に向けて整備しなければならない。

活動成果の公開に向けた整備は、その成果の作成担当者による関係機関との個別協議により「活動成果公開に向けた調査票」を作成したのち、道路管理者に対して活動成果講習会を開催する。

この時、事前に整理した活動成果公開に向けた調査票をもとに、その再確認と必要に応じ再度協議を並行して行うものとする。

以上の結果をもとに出典、著作権、公開の可否、公開レベル等を総合的に整理するため公開前の事前審議を行うが、この事前審議は道路管理技術委員会の活動成果実用化部会が対応し最終調整・決定を行う。

その後この決定に基づいて公開資料を作成しホームページに掲載して道路管理者等に対して閲覧公開する。

これらの流れを以下に示す。

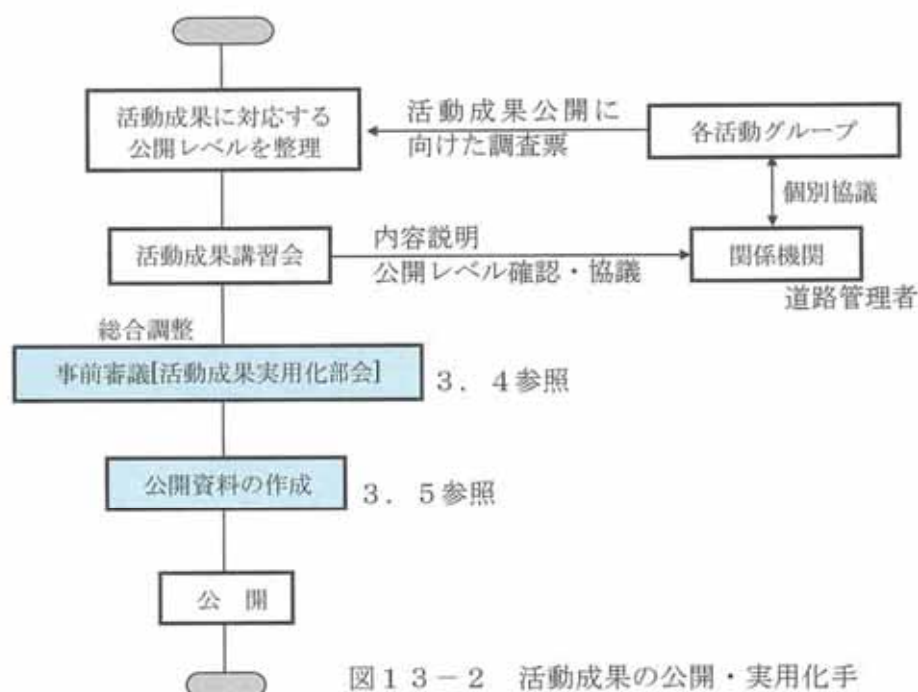


図13-2 活動成果の公開・実用化手

表13-1 公開レベル

公開レベル	公開対象者
レベル0	道路管理技術委員会メンバー（委員&専門技術者）
レベル1	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研）
レベル2	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研、北海道、札幌市、ネクスコ東日本）
レベル3	レベル2+大学、コンサル（ほぼ一般公開）

13.4 事前審議

事前審議は活動成果実用化部会にて行う。各活動グループが該当する道路管理者に個別に相談、協議して作成した『活動成果公開に向けた調査票』や別途開催する『活動成果講習会』における説明、質疑及び公開レベルの確認などにもとづいて、その内容や記載事項の確認を行い成果全体に関して協議し総合調整を行う。

なお、活動成果公開に向けた調査票を次頁に示す。

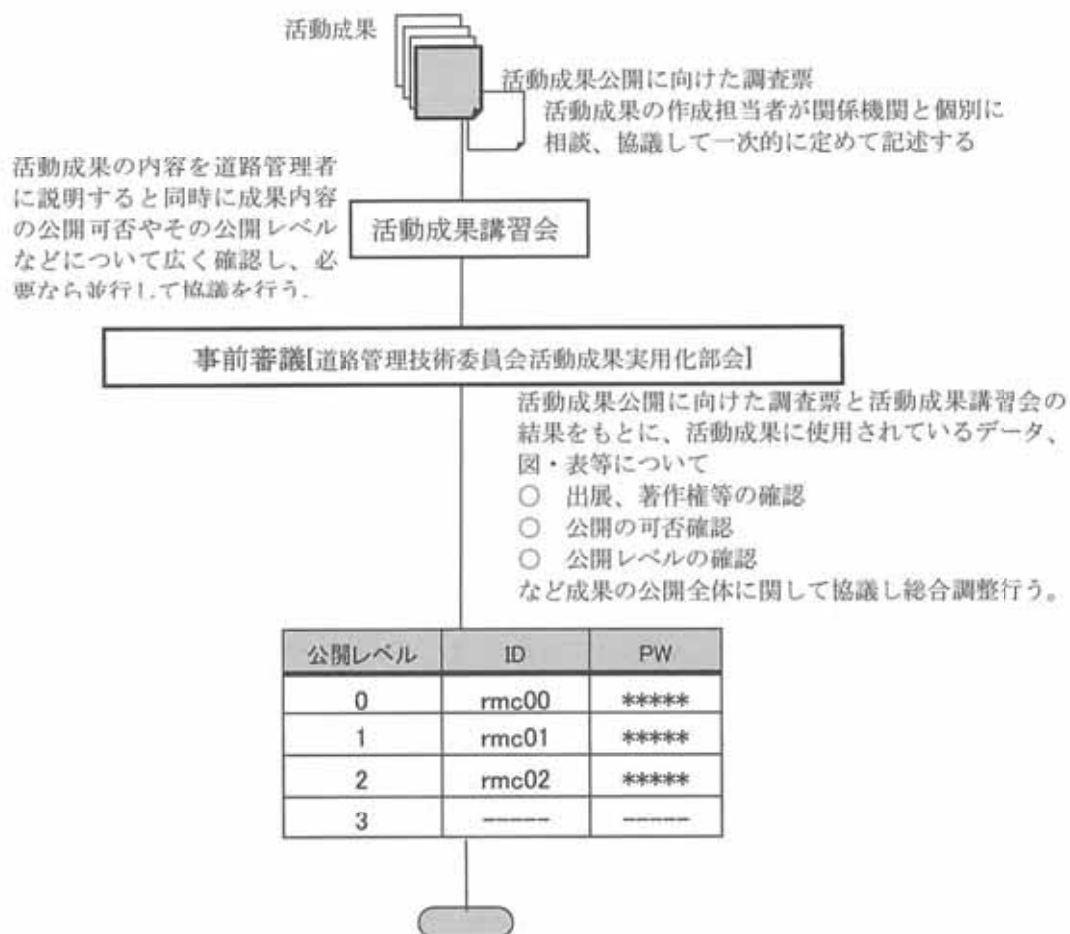


図 13－3 活動成果の事前審議

表 13－2 公開レベル（前出同）

公開レベル	公開対象者
レベル0	道路管理技術委員会メンバー（委員&専門技術者）
レベル1	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研）
レベル2	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研、北海道、札幌市、ネクスコ東日本）
レベル3	レベル2+大学、コンサル（ほぼ一般公開）

活動成果公開に向けた調査票

■活動テーマと概要等

活動テーマと概要 記入者氏名

活動経緯

■公開にあたって問題発生が懸念される掲載情報

報告書に掲載されている内容について、次のような公開レベルを想定した場合、問題発生が懸念されるものがあれば記載してください。

公開レベル	公開対象者
レベル0	道路管理技術委員会メンバー（委員&専門技術者）
レベル1	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研）
レベル2	レベル0+道路管理者関係（本局、建設部、寒地研、北海道、札幌市、ネクスコ東日本）
レベル3	レベル2+大学、コンサル（ほぼ一般公開）

掲載情報 図表、写真、データ等	理由（著作権、使用権等の許諾、制限、出典など）	予想される 公開レベル
記入例：○A○○○調査	開発局の内部資料であり同局の許諾要	レベル0
○B○○○調査	国の道路管理者及び関連機関用の内容	レベル1
○C○○○調査	広義の道路管理者及び関連機関用の内容	レベル3
○D○○○調査	内容、資料、図、表とも委員会独自成果	レベル3
注 データを含む諸情報に発生日付、入手日付、期間等の条件がある場合はそれも明記してください。		

■その他、公開についてのご意見等

13.5 公開資料の作成と公開形態

活動成果に関し事前審議が終わったものについては、公開用に資料を作成した後すみやかにホームページに掲載すると同時に、事前審議により確認されたIDとパスワードを配布して閲覧に供する。なお、公開資料はインターネットを通じて閲覧できる形態のものと、活動成果を資料としての利用に供するためのダウンロード用に原本のまま提供することができる2つの形態で保存する。

なお、本公開に先立ち、実際の成果閲覧状態を確認するために、事前審議にて必要とされた場合は指示された期間についてレベル0（道路管理委員会のみ）公開を行って試行期間を設けることもできる。

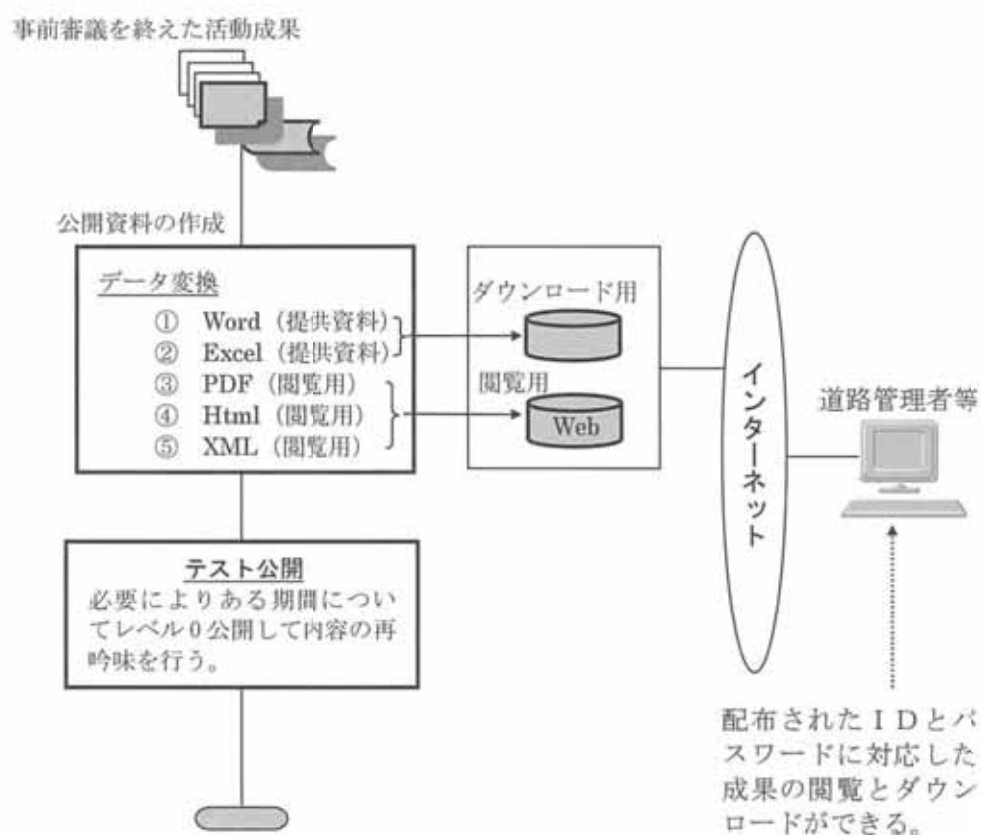


図13-4 公開資料の作成と公開形態

13.6 活動成果の試行公開

道路管理技術委員会の活動成果報告書（その2）〔平成13年度～15年度〕における各活動テーマについて試行公開として、公開レベル0は平成18年9月、公開レベル1のうち本局については、平成19年4月より閲覧に供している。

これらの活動成果を以下に示す。

なお、今後は活動報告書（その3）について、早期に活動成果講習会を開催して道路管理者（本局、開発建設部）に説明し、公開の取り組みを進めたいと考えている。

表13-3 活動成果の試行公開

区分	活動テーマ	成果
地盤		
防 災	道路防災マップ（災害履歴・災害要因）	継続
防 災	道路と活断層に関する調査	完了
防 災	急崖斜面の斜め空中写真の管理と運用	継続
防 災	集中豪雨と都市災害	完了
防 災	雨量と斜面の不安定化に関する調査	完了
維持管理	道路施設の凍上被害事例調査	完了
新 技 術	空中レーザーを用いた地形計測	継続
火山		
防 災	火山噴火による道路被害範囲予測	継続
構造		
橋 梁	橋梁データベースの検討	完了
	橋梁点検に関する技術向上	継続
トンネル	既設トンネルの健全度評価	完了
	トンネルデータベースに関する検討	完了
道路・情報		
路面管理	冬期路面モニタリング技術の高度化	継続
安全対策	春志内トンネルの冬期事故対策	完了
雪 氷	北海道の道路雪崩と視程障害対応	継続

上表の内容を含む道路管理技術委員会ホームページをインターネット上で閲覧したときの画面概要を次ページ以降に記載し参考とする。

